

紫波町市民政策提案書

平成 21 年 1 月 15 日

紫波町長 藤原孝様

紫波町日詰郡山駅57-3(株)よんりん舎内
紫波町平泉関連史跡連携協議会
会長 横沢大造



紫波町市民参加条例第 12 条第 1 項により、次のように政策提案いたします。

提案名 『歴史の町』をめざす協働のあり方の提案

《目的》 紫波町内に多く残る歴史的資産を活用して観光交流事業の発展を図る。併せて、郷土史の理解を深め、郷土愛を育むまちづくりを官・民一体となって、効果的に進める。

《概要》 平泉の世界遺産登録は延期となったが、2年後の再審査に期待が集まり、東北地方の観光客の動きは大きく変わろうとしている。国においては昨年 10 月に観光庁が新設され、岩手県も副知事を本部長とする庁内横断組織「県観光産業振興本部」を設置した。

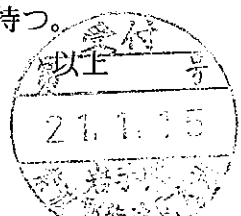
紫波にあつては、町内に多く残る奥州藤原氏に関連した史実と伝承をつむいで町おこしを図るべく「紫波町平泉関連史跡連携協議会」が組織され、平泉町長を招いた連携フォーラムや、紫波中央駅観光案内所を開設するなどの活動を展開してきた。こうした民間の活動に対して紫波町商工会・紫波町・盛岡振興局などから助成金等の支援がなされ、マスコミも協働の新しいあり方として注目し報道されてきたことは周知のところである。協議会は更に、藤原秀衡の修造の史実がそのまま残る「日の輪・月の輪形」池跡に水を入れて往時の景観を復元し、平泉のうねりを県央へ呼び込みたいと考えている。この取り組みは「文化財の積極的な活用」を呼びかける岩手県の方針とも合致し、紫波町活性化の有力な手立てになると思うが、歴史的資産という性格上、紫波町教育委員会の理解と積極的な指導が欠かせない。

(資料1: 第 8 次岩手県教育振興基本計画)

また、町の観光・交流の状況を見ると、各課がそれぞれにグリーンツーリズムなどの企画を持ちながら、連携や情報の交換が欠けているように見える。民間でも、日詰商店会・観光交流協会・まちづくり企画(株)・あらえびす記念館・郷土史同好会・平泉関連史跡連携協議会などが、個々の企画を持つほか、町の西部に新設された「あづまねエリア交流連絡協議会」や、東部でも、体験学習ツアーを企画する動きが見られるが、やはり連携がとられているとは云い難い。

時宜を得て、大いに発展できる資質を持ちながら、統一した指針を持たない紫波町の官・民の現状を踏まえ、次の施策を提案いたします。

- 1、『歴史の町』を掲げたまちづくりを図る。 (資料2: 岩手県文化財保護審議会会長の書信)
 - 1)、史実に基づいて、平泉文化を支えた往時の志波の役割を究明し、まち興しを図る。
 - 2)、当面、費用負担が少なく宣伝効果の大きい「日の輪・月の輪形復元計画」を進め、陣ヶ岡～五郎沼(樋爪館跡)を結ぶ骨格ラインをつくる。 (資料3: 月の輪形復元計画の概要)
 - 3)、史跡を巡って学習するために必要な説明板・案内表示・通路・駐車場等の整備を進める。
 - 4)、陣ヶ岡・樋爪館跡・安倍道を候補とし、県および国の史跡指定をめざして取り組む。
- 2、民間団体の活動を行政が支援する仕組みを構築し、町政の一層の活性化と業務の削減を図る。
 - 1)、観光・交流に関わる各課と民間団体との継続的な協議の場を設け、施策を整合する。
 - 2)、「交流人口 200 万人」達成に向けて中期的な計画数値を設定した具体的な施策を持つ。



資料3: 月の輪形景観復元計画の概要

鎌倉幕府の史書吾妻鏡には、藤原泰衡を追った源頼朝が陣ヶ岡に28万4千の陣を布いたと記す。

陣ヶ岡・月の輪形の由来は、頼朝に先立つ前九年の合戦で源頼義・義家父子がここに陣を布いた折に、丘の西端にある池に源氏の象徴である日月が映り・輝き、吉兆とした頼義が「日の輪・月の輪形」を築いて、平泉三代の藤原秀衡が修造したと伝わる。昭和の食糧難に際して農作物の作付けのため、池を埋め立てて現在に至る。

現在、地元の陣ヶ岡愛護会の三十年余にわたる献身的な努力により、日の輪・月の輪の形をとどめているが、近年、とみに形が不明瞭になってきた。

原因究明と修景を兼ねて、概ね次の計画により景観復元を図りたい。

- 1、町教育委員会の指導を受けながら、平均40cmを掘り下げ、20cmの深さに水を入れたい。
(池の面積 7,161 m²。実質掘り下げ面積約 2,800 m²。手掘り。監督者のもとにチーム編成。) ボランティアによる人海戦術。(隣接の広場へ堀上げ土を一輪車で運び、敷き均す。)
(新聞社へ、毎月よびかけと追いかかけの報道依頼。宣伝効果大。)
4月から毎月第二週、日・月・火の三日間 (遠来の参加者に向け宿泊特別料金設定・ゆらら) 参加費千円 (炊き出し昼食付。作業前に、紫波の平泉セミナー1時間。)
- 2、新設の大型バス駐車場と月の輪形を結ぶ赤スジ(公道)復元
林内に赤スジが隠れている。伐開し、木材チップを敷き詰め、アジサイ巡回路とする。 (資料4:)